

社会資本総合整備計画

計画の名称	24 新発田市ICアクセス道路整備		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成28年度 (4年間)	交付対象	新発田市
計画の目標			

地場産品の有効活用や新技術・新商品の開発支援及び雇用促進等を目指して積極的に企業誘致を推進していくため、現在、食品工業団地等の拡大を進めており、計画している工業団地も含め近郊の幹線道路との道路とのアクセスを強化し、交通や物流の利便性を向上させる。
 また、新発田駅東地区の宅地分譲や大型スーパーの出店が進んでいることから、駅東口を中心とした駅東地区のコミュニティバスの新設による利便性の向上や、首都圏・外国人等月岡温泉の観光人口が増加しているため、当該路線の道路環境の整備により、新発田駅東口からのアクセスの向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	これらの道路を整備することにより、交通や物流の利便性を向上させ、企業誘致を促進し、工業団地の販売敷地面積を100%とする。 国道7号における大型車両混入率を低減させる。 東口を利用する方（月岡温泉旅館組合）を対象とした交通アクセス（時間短縮）に関する満足度調査（アンケート）
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
(企業誘致の進捗率) = (販売敷地面積) / (全体敷地面積) × 100%	0%	50%	100%	
(大型混入率) = (通過大型車両) / (全体交通量) × 100%	12.7%	11.5%	10.0%	
(満足度) = (道路整備後に満足した組合員数) / (月岡温泉旅館組合全体数) × 100% 月岡温泉旅館組合を対象とした満足度調査（アンケート）	—	—	80%	

交付対象事業

A 道路事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					備考
											H25	H26	H27	H28	H29	
24-A1	道路	一般	新発田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 豊町荒町線	道路改良 L=1,307m	新発田市						
24-A2	道路	一般	新発田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 五十公野バイパス線	バイパス L=1,890m	新発田市						

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					備考	
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					備考	
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

事前評価チェックシート

計画の名称: 新発田市ICアクセス道路整備

事業主体名: 新発田市

チェック欄

I.目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
・上位計画との整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域課題と整備計画の目標の適合性)	
・地域の課題を踏まえた整備計画の目標が設定されている。	○
II.計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
・計画の目標と定量的指標が整合している。	○
②定量的指標の明瞭性	
・定量的指標がわかりやすい内容になっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
・計画の目標と事業内容が整合している。	○
④事業効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
・事業の効果の見込みが妥当である。	○
III.計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
・住民等の合意形成が図られている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
・住民等の活動や関連事業等と連携している。	○